



## 令和2年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年2月14日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771  
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年9月期第1四半期の業績（令和元年10月1日～令和元年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年9月期第1四半期	1,815	△10.3	△19	ー	△22	ー	△19	ー
元年9月期第1四半期	2,022	ー	32	ー	22	ー	11	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年9月期第1四半期	△3.59	ー
元年9月期第1四半期	2.08	ー

(注) 平成30年9月期の第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、令和元年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年9月期第1四半期	7,726	2,615	33.9
元年9月期	8,023	2,696	33.6

(参考) 自己資本 2年9月期第1四半期 2,615百万円 元年9月期 2,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年9月期	ー	0.00	ー	10.00	10.00
2年9月期	ー	ー	ー	ー	ー
2年9月期(予想)	ー	0.00	ー	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和2年9月期の業績予想（令和元年10月1日～令和2年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,440	4.2	105	29.3	90	54.1	60	104.6	11.13
通期	9,900	8.1	530	113.5	500	135.8	330	128.4	61.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年9月期1Q	5,391,000株	元年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	2年9月期1Q	－株	元年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年9月期1Q	5,391,000株	元年9月期1Q	5,341,826株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が昨年10月以降に発生したことや、大型台風の襲来等の自然災害による生産・販売の下振れの他、米中貿易摩擦の影響等により輸出にも勢いを欠き、厳しい状況が続きました。

当社におきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減を、昨年7月に発刊した業務用カタログNO.15による売上増等で期中に取り戻していく見通しとしておりましたが、全般的に厳しい経営環境が続いた影響もあり、取り戻し切ることが出来ず、売上利益ともに低調な推移となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,815百万円（前年同期比10.3%減）、営業損失19百万円（前年同四半期は営業利益32百万円）、経常損失22百万円（前年同四半期は経常利益22百万円）、四半期純損失19百万円（前年同四半期は四半期純利益11百万円）となりました。

## ①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は11月まで消費税増税の反動減が糊付機の販売等に残り、12月にはそうした影響を払拭することができましたが、完全に取り戻すまでには至りませんでした。一方、畳事業は、平成30年度補正予算のものづくり補助金第二次採択結果が10月末に発表され、採択先への売上が進捗するなど順調に推移いたしました。その結果、セグメント売上高は1,505百万円（前年同期比0.4%減）となり、損益は運送費の上昇の影響等もあり営業損失5百万円（前年同四半期は営業利益13百万円）となりました。

## ②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、棺用量や特殊畳（「ジムボード」、「高床式畳」等）はまず順調に推移いたしました。消費税増税前の駆け込み需要が特に大きかったネットビジネス事業（畳表替え仲介事業）は反動減が長引きました。ソーラー・エネルギー事業は、一部の工事で着工がずれ込み売上が第2四半期以降に持ち越しとなりましたが、メガソーラー発電事業は順調に稼働しております。その結果、セグメント売上高は206百万円（前年同期比24.2%減）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業利益4百万円）となりました。

## ③インダストリーセグメント

産業機器事業は、米中貿易摩擦等を懸念しつつも積極的な事業推進に努めましたが、出荷時期が第2四半期に変更になった案件の発生などから、予想をかなり下回りました。食品機器事業は、大手飲食チェーン等の省力化ニーズは引き続き活発で、主力のマルチディスペンサーの受注は順調に推移しておりますが、当第1四半期の売上案件が少なく低調なスタートとなりました。その結果、セグメント売上高は102百万円（前年同期比57.0%減）、営業損失11百万円（前年同四半期は営業利益14百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ297百万円減少し、7,726百万円となりました。資産のうち、流動資産は、棚卸資産が215百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が531百万円減少したこと等により、278百万円の減少となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が4百万円減少、無形固定資産及び投資その他の資産が14百万円減少したことにより、18百万円の減少となりました。

## ②負債の部

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ216百万円減少し、5,110百万円となりました。負債のうち、流動負債は、その他（主に未払金）が135百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が89百万円、電子記録債務が100百万円、賞与引当金が94百万円減少したこと等により、154百万円の減少となりました。固定負債につきましては、長期借入金及び役員退職慰労引当金が減少したこと等により、61百万円の減少となりました。

## ③純資産の部

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ80百万円減少し、2,615百万円となりました。これは、利益剰余金が73百万円、その他有価証券評価差額金が7百万円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和元年11月14日の「令和元年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和元年9月30日)	当第1四半期会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,407,091	1,463,443
受取手形及び売掛金	2,405,418	1,874,363
電子記録債権	628,841	603,576
商品及び製品	519,118	643,185
仕掛品	155,264	223,489
原材料及び貯蔵品	202,318	225,047
その他	28,991	35,105
貸倒引当金	△2,213	△2,096
流動資産合計	5,344,831	5,066,113
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,408,551	1,408,551
その他（純額）	867,270	862,632
有形固定資産合計	2,275,822	2,271,184
無形固定資産		
投資その他の資産	33,691	31,129
その他	370,791	359,165
貸倒引当金	△1,472	△1,472
投資その他の資産合計	369,319	357,693
固定資産合計	2,678,833	2,660,006
資産合計	8,023,664	7,726,120
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,029,735	940,384
電子記録債務	989,166	889,111
短期借入金	1,443,344	1,442,512
1年内返済予定の長期借入金	158,728	167,502
未払法人税等	15,520	6,336
賞与引当金	141,000	47,000
役員賞与引当金	7,000	1,700
その他	259,765	394,857
流動負債合計	4,044,260	3,889,404
固定負債		
長期借入金	680,354	640,672
退職給付引当金	248,867	252,543
役員退職慰労引当金	301,000	273,800
その他	52,502	53,831
固定負債合計	1,282,723	1,220,847
負債合計	5,326,983	5,110,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,542,474	1,469,214
株主資本合計	2,654,650	2,581,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,031	34,478
評価・換算差額等合計	42,031	34,478
純資産合計	2,696,681	2,615,868
負債純資産合計	8,023,664	7,726,120

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成30年10月1日 至平成30年12月31日）	当第1四半期累計期間 （自令和元年10月1日 至令和元年12月31日）
売上高	2,022,335	1,815,015
売上原価	1,404,366	1,228,568
売上総利益	617,969	586,446
割賦販売未実現利益戻入額	1,026	860
差引売上総利益	618,996	587,307
販売費及び一般管理費	586,035	606,765
営業利益又は営業損失（△）	32,960	△19,458
営業外収益		
受取利息	117	238
受取配当金	135	136
スクラップ売却益	779	653
雇用調整助成金	810	810
受取保険金	—	6,004
その他	1,630	1,033
営業外収益合計	3,472	8,876
営業外費用		
支払利息	5,688	5,190
手形売却損	1,833	—
売上割引	3,995	4,011
新株発行費	2,271	—
その他	110	2,594
営業外費用合計	13,897	11,795
経常利益又は経常損失（△）	22,534	△22,377
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	22,534	△22,377
法人税、住民税及び事業税	1,863	2,802
法人税等調整額	9,586	△5,830
法人税等合計	11,449	△3,027
四半期純利益又は四半期純損失（△）	11,084	△19,349

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間（自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	
売上高	1,511,243	272,704	238,387	2,022,335
セグメント利益	13,186	4,789	14,984	32,960

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期累計期間（自 令和元年10月1日 至 令和元年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	
売上高	1,505,829	206,588	102,597	1,815,015
セグメント損失(△)	△5,677	△1,820	△11,960	△19,458

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。